




令和5年度 基本評価調書		所管部局	経済部	所管課	観光振興課		
施策名	誘客活動の推進			施策コード	0516		
政策体系(中項目)	道民をはじめ国内、そして世界中から愛される「観光立国北海道」の実現			政策体系コード	2(6)A		
関連重点戦略計画等	知事公約 創生総合戦略 Society5.0推進計画 ゼロカーボン					事務事業数	16
特定分野別計画	北海道観光のくにつくり行動計画						
SDGs				総合判定	遅れている		
予算額(千円)	R 5	21,802,202千円	R 4	40,870,923千円	R 3	457,115千円	

施策目標	令和4年10月来の水際対策の大幅な緩和や、全国旅行支援等による旅行マインドの高まりなど、観光回復の波を着実に捉え、需要喚起策や戦略的なプロモーションの展開などにより、内外需要をより積極的に喚起し、市場の拡大を図る。
現状と課題	<p>(観光関連産業の回復に向けた需要喚起策の実施)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3年間にわたるコロナ禍の影響に加え、原材料価格の高騰等により、観光関連産業は依然として厳しい状況にあるため、引き続き需要喚起策の展開が必要。 <p>(観光需要・誘客増に向けた戦略的なプロモーションの展開) (MICE誘致支援の実施)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水際対策の大幅な緩和や本道への直行便の再開に伴うインバウンドの回復を着実に捉え、観光立国北海道として世界的な誘客競争に打ち勝つためには、MICEなどの需要の増加が期待される分野や対象国に対する効果的なプロモーションの展開が必要。
前年度二次評価意見	総合計画に掲げる、「観光立国北海道」の再構築のため、渡航制限緩和状況に応じた戦略的なプロモーションの展開や甚大な影響が生じている観光関連産業への支援が重要であり、総合計画の政策目標の実現に向け、取組の一層の推進を検討すること。
対応状況	観光関連産業をはじめ、地域への経済効果が高い全国旅行支援の継続的な実施と併せ、インバウンドの回復も見据えた国内外に対するプロモーションを戦略的に展開し、本道の観光需要の回復に取り組む。

<主な取組>

今年度の取組	<p>(観光関連産業の回復に向けた需要喚起策の実施)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光需要を喚起するため、道内外からの旅行客を対象とした道内旅行商品の割引支援(全国旅行支援)について、引き続き実施する。(ポストコロナ) <p>(観光需要・誘客増に向けた戦略的なプロモーションの展開)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訴求力のある観光コンテンツを活用し、デジタルメディアなど各種メディアを通じた国内外でのプロモーションに加え、観光アプリを活用した情報発信の強化など、道内外観光客の誘客を推進する。(ポストコロナ) <p>(MICE誘致支援の実施)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現地商談会の開催などによりMICE誘致の実現の可能性を高めるとともに、高齢者や障がい者など多様な方々が安心・快適に参加できる「やさしいMICE」誘致の加速化に向け、道内外における普及啓発をはじめ、先進的な取組への支援を実施するなど、道内における受入環境の整備を図る(ポストコロナ)
実績と成果	<p>(観光関連産業の回復に向けた需要喚起策の実施)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光需要喚起のため、R4.10月から北海道旅行割引事業の全国旅行支援「HOKKAIDO LOVE!割」を開始し、R5.3月末までの利用延べ人数5,968,334人の利用実績となり、支援金額は約344億円(クーポン利用額含む)となった。(ポストコロナ) ・貸切バス等での感染リスク低減に取り組むために必要な費用を支援する「教育旅行支援事業」を実施。【支援実績 R2:1,683件、R3:2,453件、R4:2,129件】(ポストコロナ) <p>(観光需要・誘客増に向けた戦略的なプロモーションの展開)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海外に拠点を設置する北海道観光レップ事業を英国と米国で展開し、欧米市場を対象としたモデルコースの造成や現地旅行会社等への営業活動等を実施した。【モデルコース:10本、営業活動:欧州38社、米10社】(ポストコロナ) ・広告素材に「TEAM NACS」を起用するなど「HOKKAIDO LOVE!」を合言葉にテレビCMやウェブ広告など道外での大規模なプロモーションを実施した。(ポストコロナ) <p>(MICE誘致支援の実施)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・R4年度のMICE誘致支援事業においては、北海道MICE誘致促進助成金として8件の大型コンベンションに助成したほか(R3:1件)、商談会の実施(商談件数80件)、MICEエキスポへの出展(商談件数95件)、広域モデルコースの造成や現地商談会等の開催(4エリア)等を実施した。(ポストコロナ)
参考HP①	北海道観光のくにつくり行動計画について https://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kkd/252-kodo_keikaku/koudoukeikaku.html
参考HP②	北海道観光振興機構 観光統計データ レポート一覧 https://statistics.visit-hokkaido.jp/pdf/
参考HP③	北海道公式観光サイト https://www.visit-hokkaido.jp/

〈指標分析〉 ⇒ 成果指標は、原則、取組項目ごとに1つ以上、全体で5つ以下とする

指標名①	増加	万人	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R7)	達成率	指標判定
観光入込客数（道内容）	目標値		4,880.0	4,880.0	4,880.0	4,880	77.0%	D
	実績値		3,123.0	3,234.0	3,756.0			

設定理由

道民への本道の魅力の発信や戦略的な誘客活動により道外観光入込客数がどのくらい増加したかを把握する指標であり、観光関連産業の需要喚起策の展開や効果的なプロモーションの展開といった課題への取組に関する成果を測る指標として設定。

指標公表時期

毎年調査、9月頃公表

出典（根拠計画等）

北海道経済部観光局観光振興課「北海道観光入込客数調査報告書」

分析（主な取組と成果）

新型コロナウイルス感染症の影響による行動制限がなく、「どうみん割」や「HOKKAIDO LOVE割」による旅行支援の実施や、水際措置の大幅緩和などにより、前年度と比べ増加傾向にあるほか、感染拡大前の令和元年度の概ね8割程度まで回復した。

指標名②	増加	万人	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R7)	達成率	指標判定
観光入込客数（道外客）	目標値		620.0	636.0	652.0	700	62.0%	D
	実績値		215.0	261.0	404.0			

設定理由

道外への本道の魅力の発信や戦略的な誘客活動により道外観光入込客数がどのくらい増加したかを把握する指標であり、観光関連産業の需要喚起策の展開や効果的なプロモーションの展開といった課題への取組に関する成果を測る指標として設定。

指標公表時期

毎年調査、9月頃公表

出典（根拠計画等）

北海道経済部観光局観光振興課「北海道観光入込客数調査報告書」

分析（主な取組と成果）

新型コロナウイルス感染症の影響による行動制限がなく、「どうみん割」や「HOKKAIDO LOVE割」による旅行支援の実施や、水際措置の大幅緩和などにより、前年度と比べ増加傾向にあるほか、感染拡大前の令和元年度の概ね7割程度まで回復した。

指標名③	増加	件	R元年度	R2年度	R3年度	最終目標 (R7)	達成率	指標判定
国際会議等の開催件数（暦年）	目標値		122.0	125.0	134.0	140	0.0%	D
	実績値		115.0	3.0	0.0			

設定理由

道内で開催された国際会議など、MICE誘致・開催の推進状況を測る指標であり、戦略的なプロモーションへの課題の取組に関する成果を測る指標として設定

指標公表時期

毎年調査、1月公表

出典（根拠計画等）

日本政府観光局（JNTO）国際会議統計

分析（主な取組と成果）

感染症の世界的な感染拡大により、外国からの渡航が原則停止され、全国的にも国際会議の開催は困難な状況となった。

指標名④			R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R7)	達成率	指標判定
宿泊客延数（国内客）	目標値		3,000.0	3,100.0	3,200.0	3,500.0	93.9%	B
	実績値		1,830.0	1,856.0	3,004.0			

設定理由

旅行目的や旅行形態の多様化・個性化に対応した質の高い観光地づくりの状況を測る指標であり、課題である付加価値の高い、観光ニーズに対応した観光地づくりの取組の成果を測る指標として設定。

指標公表時期

毎年調査、9月頃公表

出典（根拠計画等）

北海道経済部観光局観光振興課「北海道観光入込客数調査報告書」

分析（主な取組と成果）

新型コロナウイルス感染症の影響による行動制限がなく、「どうみん割」や「HOKKAIDO LOVE割」による旅行支援の実施や、水際措置の大幅緩和などにより、前年度と比べ増加傾向にあるほか、感染拡大前の令和元年度を上回る水準まで回復した。

指標名⑤			R3年度	R4年度	R5年度	最終目標 (R7)	達成率	指標判定
	目標値						—	—
	実績値							

設定理由

指標公表時期

出典（根拠計画等）

分析（主な取組と成果）

〈取組分析（連携状況、緊急性・優先性）〉

連携状況	(課題) 感染症の影響により、R2年度以降は国内外問わず旅行需要の低迷が続いており、早期回復を図るためのプロモーションや観光需要喚起策など総合的な支援を継続的に実施することを国に要望を行っているが、北海道旅行割引事業の全国旅行支援「HOKKAIDO LOVE! 割」は、7月14日をもって終了したところ。
	(取組) 観光需要喚起の促進にあたっては、北海道観光振興機構をはじめ市町村、観光協会、関係企業・団体と連携のもと様々な手法による効果的な情報発信を図っているほか、プロスポーツチーム等と連携してHOKKAIDO LOVE! のプロモーションを行うなど、民間企業との連携により効果的なPRを図っている。
緊急性 優先性	(課題) 訪日外国人来道者数(実人数)はH30年度に過去最高の312万人となったが、感染症の影響により、R2年度以降は旅行需要の低迷が続いており、早期回復を図るためのプロモーションや観光需要喚起策など総合的な支援を継続的に行うことを国に要望を行っている。(R5年6月)
	(取組) 北海道旅行割引事業に関しては、7月14日をもって終了したところであるが、新たな需要喚起策として、地域一体となった観光地・観光産業の再生・高付加価値化や消費拡大・地方誘客に効果の高いコンテンツの整備を目的とした様々な施策の拡充などについて、国に対し要望を行ってきた。また、渡航制限解除に向け激化が予想されるプロモーションやMICE誘致の激化が予想されることから、官民連携による事業や誘致・開催支援などについて国に対し要望を行ってきた。(R5年6月)

〈取組分析（その他の統計数値等）〉

成果指標で課題への対応を説明済

統計数値等①	過年度①	過年度②	最新年度
観光入込客数（外国人観光客）	0万人 (R2年度)	0万人 (R3年度)	69万人 (R4年度)
分析等			
(課題) 水際対策の大幅な緩和に伴う外国人観光客の需要回復と、世界的な競争を勝ち抜くため、今後需要の増加が期待される分野や対象国に対する戦略的なプロモーションなどを通じた、外国人観光客のさらなる獲得が課題。			C
(分析等) 水際対策の終了などにより本格的な需要回復の兆しが見えてきた中、本道経済に大きな効果をもたらすインバウンドを含めた観光入込の回復に向けて、本道の強みを活かしたケア・ツーリズムやワインツーリズムの推進など高付加価値化に向けた取組を推進していく必要がある。（コロナ禍前の令和元年度同期比80%減少）			
統計数値等②	過年度①	過年度②	最新年度
分析等			
(課題)			
(分析等)			
統計数値等③	過年度①	過年度②	最新年度
分析等			
(課題)			
(分析等)			

〈総合判定〉

指標判定	C	連携状況	○	総合判定	遅れている
		緊急性・優先性	○		
		その他の統計数値等	c		

※ 成果指標の指標判定が「D」の指標

(観光入込客数(道内容)－観光入込客数(道外客)－国際会議等の開催件数(暦年)－宿泊客延数(国内客))

	対応方針番号	内容
翌年度に向けた対応方針	①	観光入込客数は感染症の拡大により低調となっているが、引き続き、感染状況や地域の実情に合わせ、国の制度を活用しながら関係機関との連携のもと、道内の観光関連事業者に対する継続的な支援に取り組む。
	②	観光入込客数は感染症の拡大により低調となっているが、新規客とリピーターの拡大に向け、メディアやSNS等さまざまな媒体による情報発信に取り組むとともに、将来的なりピーターとなる児童や生徒を対象とした教育旅行の誘致に取り組む。
	③	今後、現地参加とオンラインを併用とするハイブリッド型の開催による現地参加の減少が懸念されることから、本道の価値をアピールするとともに高齢者や障がい者など多様な方々が安心・快適に参加できる「やさしいMICE」の誘致など、関係自治体・機関と連携し取り組む。

〈二次政策評価〉

二次政策評価	<p>【施策目標の達成状況】</p> <p>総合計画に掲げる、「観光立国北海道」の再構築のため、観光関連産業の回復に向けた需要喚起策の実施や誘客増に向けた戦略的なプロモーションの展開、MICEの誘致支援が重要であり、総合計画の政策目標の実現に向け、取組の一層の推進を検討すること。</p>
--------	--

令和5年度 事務事業評価調書				施策名	誘客活動の推進	施策コード	0516
----------------	--	--	--	-----	---------	-------	------

整理番号	重複施策	経費区分	事務事業名	事務事業概要	課・局 室名	前年度からの 繰越事業費 (千円)	事業費 (千円)	執行体制			フル コスト (千円)	一次政策評価		二次政策評価意見	
								うち 一般財源	本庁	出先機関		人工計	対応 方針 番号		方向性
0321		一般	誘客促進強化事業(デジタル田園都市国家構想交付金)	新型コロナウイルスの影響により落ち込んだ北海道観光の再興を図るため、プロモーションを実施する。	観光振興課		505,776	24,000	0.8	0.00	0.8	512,048	②	改善(指標分析)	【施策目標の達成状況・事務事業の有効性】 ※基本評価調書<二次政策評価>参照
0322		一般	MICE誘致支援事業費	本道へのMICE誘致を促進するため、MICE主催者に対するプロモーションを実施するとともに、市町村の受入環境充実等の取組を支援する。	観光振興課		33,022	33,022	0.3	0.00	0.3	35,374	③	改善(指標分析)	【施策目標の達成状況・事務事業の有効性】 ※基本評価調書<二次政策評価>参照
0323		一般	どさんこ旅サロンの運営・利用促進事業費	東京都に設置した「どさんこ旅サロン」を運営し、効率的な北海道への誘客促進を図る。	観光振興課		12,720	12,720	0.3	0.00	0.3	15,072			
0324		一般	北海道ロケーション誘致推進費	ロケーション支援窓口を庁内に設置し、ロケ地情報を効果的に活用した観光客の誘致を進める。	観光振興課		274	274	0.3	0.00	0.3	2,626			
0325		一般	欧米人任用によるインバウンド強化事業費	語学指導等外国人青年誘致事業(JET)を活用して欧米人を任用し、欧米からの誘客を強化する。	観光振興課		1,644	1,644	0.3	0.00	0.3	3,996			
0326		一般	北海道観光誘致促進事業費(国際観光推進事業)	海外の旅行専門誌等を活用し情報発信することにより、東アジアやオーストラリア等からの観光客誘致を図る。	観光振興課		119,704	34,064	0.3	0.00	0.3	122,056			
0327		一般	北海道観光誘致促進事業費(地域プロモーション)	旅行会社や直接消費者と接遇する催事や旅行博等で、道内各地域の特性を生かしたプロモーションを実施。	観光振興課		121,557	60,000	0.3	0.00	0.3	123,909			
0328		一般	北海道教育旅行活性化事業費	北海道への教育旅行の誘致を図るため、情報発信及び関係者に対するプロモーション等を実施する。	観光振興課		23,240	0	0.3	0.00	0.3	25,592			
0330		一般	北海道旅行割引事業費	国の補助制度を活用し、道内外の旅行者を対象とした道内旅行商品の割引に対する支援を実施。	観光振興課	20,979,265	20,979,265	0	0.8	0.00	0.8	20,985,537	①	改善(指標分析)	【施策目標の達成状況・事務事業の有効性】 ※基本評価調書<二次政策評価>参照
0332		一般	観光企画費(観光振興諸費)	国内外の観光関連情報の発信及び収集、各種調査、関係機関との調整等を行う。	観光振興課		5,000	5,000	0.3	0.00	0.3	7,352			
0334		事務	関係機関・団体・関連産業に関する事務	北海道運輸局、北海道開発局、日本観光協会、北海道観光振興機構等関係機関・団体、関連産業との連絡調整等	観光振興課		0	0	0.3	0.00	0.3	2,352			
0335		事務	旅行業法に基づく登録事務	旅行業者及び旅行代理業者の登録、変更、更新登録、立ち入り検査、指導、苦情・相談対応等。	観光振興課		0	0	0.3	0.00	0.3	2,352			
0336		事務	観光審議会に関する事務	審議会及び部会の開催、開催結果のとりまとめ、審議内容に関する資料の収集・作成・提供	観光振興課		0	0	1.0	0.00	1.0	7,840			
0337		事務	北海道観光のくにつくり行動計画に関する事務	計画目標の達成状況の把握、道の施策の推進管理等。	観光振興課		0	0	1.0	0.00	1.0	7,840			
0338		事務	新たな財源確保に関する事務	新たな財源の確保の検討を進めるため、関係団体や地域での説明等を実施。	観光振興課		0	0	0.0	0.00	0.0	0			
0339		事務	観光局総合調整業務	観光局の各事務事業が円滑に執行されるよう管理する。	観光振興課		0	0	6.0	0.00	6.0	47,040			
0340		一般	テーマ別観光推進事業費	本格的なインバウンド回復にむけて、新たな市場特性や旅行者ニーズ等に応じたプロモーションを実施する。	観光振興課		56,756	0	3.0	0.00	3.0	80,276			
計						20,979,265	21,858,958	170,724	15.6	0.0	15.6				

